

Vigor

三田西陵高等学校 26 回生 第 3 学年 発行
No. 32 令和 3 年 1 月 22 日

～ 学年回よりメッセージ ～

3 年間の授業、考査が全て終わり、いよいよ自主登校期間を迎えます。受験本番を迎える人たちは、最後まで諦めず努力を続けてください。また、進路が決まった人たちは、この期間自分を成長させるためにはどう過ごせば良いのかを考えて、時間を大切にしてください。

5 組担任 西村 摩美 先生からのメッセージ

『新しい年を迎えて』

12 月の終わり頃からよく聞いている曲があります。「生まれたころからあった建物はもうすっかりなくなってしまった」というフレーズから始まり、「でも大丈夫、誰にも壊せないものがここに 1 つだけ」と続きます。月日とともに変わっていく風景と自分の未来の姿に思いを馳せた曲で、「2020 年の自分たちはどんなふうだろうか、変わらずにこうでありたい」というような内容です。

この曲は 2002 年みんなが生まれたころの曲で、18 年後の 2020 年、遠い未来のことを歌っています。当時の自分には 2020 年なんてはるか先のことでしたが、今こうして実際に 2020 年が終わりを、不思議な感覚でこの曲を聴いています。思いもよらないことが起き、様々なことが制限され、大変な 1 年でした。今も収束する気配



がなく、みなさんにとってもどかしい 1 年だったかもしれせん。

「空は今日のエンドロールを流しはじめた 僕らを明日の世界へと運んで行くよ」という歌詞があります。5 年後や 10 年後なんて想像もつかないような未来に感じるけれど、今日の続きに明日があるように、5 年前の続きに今があって、今の続きに 5 年後そして 10 年後がある。未来の自分をつくるのは今の自分。曲を聴きながらそんなことをあれこれ思いつつ迎えた 2021 年。みなさんにとって素晴らしい年になることを心から願います。



6 組担任 岡 諒介 先生からのメッセージ

『頑張る勇気をくれた人』

12 月頃から漢字検定 1 級に向けて勉強をしている。初めて受けようと思ったのは、社会人 1 年目の時に尊敬していた先輩の先生から、自分も剣道 6 段の試験に挑戦するから、一緒に何かに挑戦しようと言ってくれたことがきっかけだった。だけど何度か落ちるうちに、授業の準備や部活が忙しいからとか、進路指導が大変だからとか、沢山の言い訳を自分にして、ここ数年はもう受けることからさえ逃げていた。

そんな自分に、もう一度頑張ってみようと思わせてくれたのは、受験に一生懸命チャレンジしている 26 回生の皆の姿だった。合格して喜んでガッツポーズをした人からも、これから本番に向けて意気込んでいる人からも沢山の勇気もらったけれど、悔しくて悔しくて沢



山泣いたあとに、目を真っ赤にし「でも挑戦してよかったです」と前を向いて言ってくれた人の姿を見て、とても勇気もらった。

だから、何の励ましにもならないかもしれないけれど、僕も皆と一緒に眠い目をこすりながら、色んなことを我慢して、最後の最後まで諦めずに合格のために勉強しようと思う。合格点から遥かに遠く、もう無理かもと弱気になる時もあるけれど、努力をすれば昨日よりは今日、今日よりは明日、必ず合格には近づくはずだから。一緒に頑張ろう！



今後の予定

1 月 25 日 (月) ~ 2 月 26 日 (金)	自主登校期間 (ただし、2 月 15 日~17 日は 入試の為、登校禁止)
1 月 28 日 (木)	登校日 (大掃除、学年集会、考査返却など) 9 時：各 HR 教室集合 11 時半：解散予定
3 月 1 日 (月)	同窓会入会式・表彰及び贈呈式・ 卒業式予行
3 月 2 日 (火)	卒業式

